

探究学習のポイント Part-2

SDGs思考で 未来を読む

シンプルに

的確に

観光甲子園のコンテストに応募される高等学校教職員のみなさまに向けて探究学習のポイントを解説する全3回のレポートです。指導・サポートの参考資料としてご活用ください。

SDGsって何？

2015年9月の国連サミットで採択された国連加盟193か国による目標で2016年から2030年までの**15年間**に人類が達成目指すべき17のゴールと169のターゲットで構成されています。SDGsは**Sustainable Development Goals**（持続可能な開発目標）の略称で、誰一人取り残さない世界を目指すことが理念となっています。

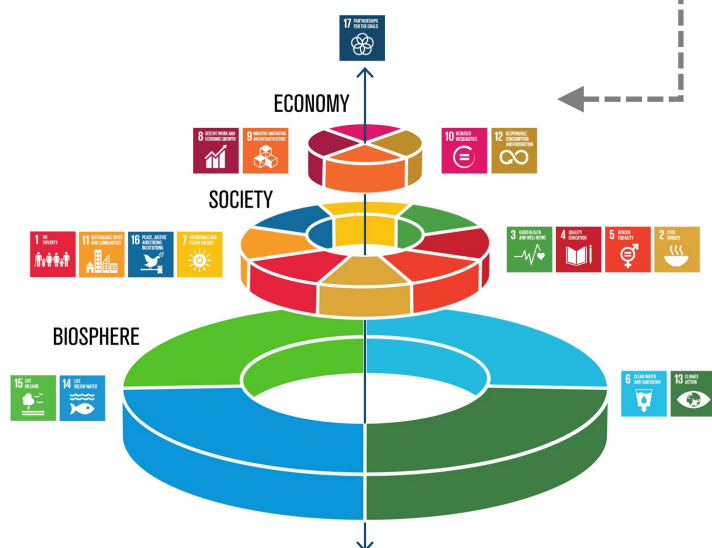
SDGs17のゴールが3段に配置された右図は様々な場所で目にするものですが、17の目標は個々独立したものではなく、互いに関連しながら持続可能な世界を目指すためのものであるため、その関係性の**構造的理解**が必要です。

そこで観光甲子園では「SDGsウェディングケーキモデル」という概念を探究学習の基軸として導入しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



構造的理解



経済圏

社会圏

環境圏



SDGsウェディングケーキモデルではSDGs1から16までのゴールを下から順に「環境」「社会」「経済」の3層に積み上げ、その上に**パートナーシップ**の重要性を掲げる17番を置いています。自然環境のバランスの上に人類の社会は成立し、その中で経済活動が営まれているという構造を示しています。

詳しくは公式サイトで

[CLICK](#)



ヨハン・ロックストローム
Johan Rockström

スウェーデン出身の環境学者。ストックホルム・レジリエンス・センター所長を務めていた際にSDGsウェディングケーキモデルを提唱。地球希望の持続可能性に関する「**プラネタリー・バウンダリー＝地球の限界**」の枠組みを開発した人物でもある。

せまるゴール「2030年」

深層理解

そもそも何故 SDGs は2015年にスタートし2030年をゴールと定めたのでしょうか？そして2024年現在どのような状況になっているのでしょうか？その流れを辿ることが**深層理解**につながります。

MDGs：ミレニアム開発目標

国連は2000年にSDGsの前身となる「ミレニアム開発目標（MDGs）」を定め、2015年までに達成すべき8つのゴールと21のターゲットを設定。



DECADE
OF
ACTION

2000年段階で目標達成が厳しくなっていたため、国連は「行動の10年」というスピードアップのアクションプログラムをスタートするも、この段階で新型コロナウイルス感染症が発生し、さらに厳しい状況に。

・ 2000 ・ 2015 ・ 2020 ・ 2024 ・ 2030 ・

どうなる？

MDGs目標は全て達成できず様々な課題を残したため目標を再編し継承する取り組みとしてSDGsが誕生。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

17のゴールと169のターゲット

2030年に目標達成できない場合の対策を検討することも必要。

達成
期限

何をすればいい？



フェーズ①の予選における「取材力」の成果を受けて、フェーズ②の準決勝では地域の課題解決や観光活性化を目指す事業計画の「構想力」を競っていただきます。SDGsウェディングケーキモデルを活用した階層別分析に基づいて、各高等学校の地元を舞台とする独自性あるプランを構想していただきます。



地域探究部門



空飛ぶクルマ部門



未来レシピ記入フォーム2023年度版

未来レシピ				観光甲子園	
school 学校	都道府県名 市町村名 校名		title 企画名		
team チーム名			member メンバー		
issue 課題			partner ships 協力者	GOAL: 17	
SDGs 目標 ターゲット	GOAL: 8. 9. 10. 12		経済 社会 環境		
	GOAL: 1. 2. 3. 4. 5. 7. 11. 16				
	GOAL: 6. 13. 14. 15				
plan 修学旅行 企画解説 200文字					

★ フェーズ②（準決勝）の所定フォーム内には「未来レシピ」が含まれます。

探究学習のポイント Part-3

次回は2部門に関連する情報をレポートします



NEXT
TOURISM